

【TOPICS】

■アジサイ類

園内全域で見頃となりました。特にふれあい広場北側斜面や花木園菖蒲田周辺、溪流広場周辺がおススメポイントです。また西立川口周辺でカシワバアジサイ、花木園展示棟前でアナベル、第3サークル周辺の園路沿いでノリウツギが見頃となっています。



アナベル

■ユリ類

西立川口周辺でユリ“オリエンタルハイブリッド”が見頃となり、カサブランカも開花し始めています。また日本庭園、こもれびの丘、こもれびの里を中心に園内各所にヤブカンゾウ、こもれびの丘でヤマユリも咲き始めています。

■ハス

こもれびの里のハスが見頃になっているほか西立川口さざなみ広場には88鉢のハスの展示を行っています。



カサブランカ'コンカドール'



ハス



ダリア

■ダリア

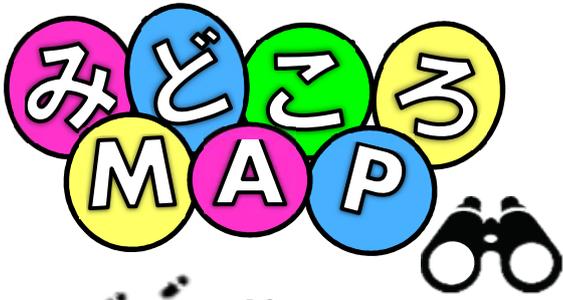
ダリアの庭、原っぱ南花畑周辺共に開花が始まっています。また、コウテイダリアも一部品種開花が始まっています。

今週の植物情報

	今週の植物情報				
	植物名	科名	状況	場所	一口メモ
草花	アガパンサス	ユリ	開花始め	花木園展示棟ロックガーデン	アガパンサスはギリシャ語で「美しい花」を意味します。花姿が似ていることから別名ムラサキケンシランと呼ばれます。
	カサブランカ	ユリ	開花始め	西立川口ぶらぶら坂(西立川口～No.9交差点)	ユリの王様と呼ばれ、純白大輪の花をつけます。香りがとても良い品種です。現在咲いているのはコンカドールと黄う黄色の品種です。
	ヤブカンゾウ	ユリ	開花中	日本庭園、こもれびの丘、こもれびの里ほか園内各所	この花を見て憂いを忘れるという中国の故事からフスレグサという別名があります。ムラサキ科の植物フスレグサとは別のものです。
	ダリア	キク	見頃始め	ダリアの庭、原っぱ南花畑周辺	花形のタイプでも十数種に分類されるほど非常にたくさんの品種があります。
	カワラナデシコ	ナデシコ	見頃	秋の七草園(No.16交差点周辺)	一般的に外来種をナデシコ、在来種をカワラナデシコやヤマトナデシコと呼び、外来種との区別化をしていたものが標準名となりました。
	キキョウ	キキョウ	見頃	日本庭園、こもれびの丘南斜面	根が生薬にもなります。昔が風船のように膨らむことから英名でバルーンフラワーと呼ばれています。
	クロコスミア	アヤメ	見頃	花木園展示棟前	乾燥させた花を油に入れるとサフランの香りがすることから、ギリシャ語でサフランと匂いの意味を持つ単語を組み合わせて名前がつけられました。
	ハス	スイレン	見頃	こもれびの里、さざなみ広場	突の形がハチの鼻に似ているところからハチスと呼ばれ、変異してハスとなりました。原産地はインドです。
	ハンゲショウ(葉)	ドクダミ	見頃	水鳥の池北岸(ハーブ園周辺)	日当たりの良い湿地などで育ちます。花が咲く時期になると葉が一部を残して白色に変化します。
	ヒョウタン	ウリ	見頃	こもれびの里 花みどり文化センター前グリーンカーテン	古くから、乾燥させ容器や装飾品などに加工されています。
	ユリ“オリエンタルハイブリッド”	ユリ	見頃	西立川口ぶらぶら坂(西立川口～No.9交差点)	日本にのみ自生している6品種の固有種を交配してできた新しい品種の総称です。
スイレン	スイレン	見頃過ぎ	花木園菖蒲田	見た目が似ているものにハスがありますが、ハスは葉が水面から立ち上がるのに対し、スイレンは葉が水面に浮かぶ特徴があります。	
樹木	クチナシ	アカネ	開花中	溪流レストラン北側	クチナシの実で黄色に染めた黄飯と呼ばれるものが静岡県～宮崎県の地域で作られ、大分県では郷土料理として紹介もされています。
	ノウゼンカズラ	ノウゼンカズラ	開花中	玉川上水口周辺	ラッパのような形の花を咲かせるつる性植物であることから、別名ラッパツルクサとも呼ばれています。
	コブシ(実)	モクレン	見頃始め	こもれびの里、砂川口周辺	初春につける蕾の形も人の拳に似ていることから名前が付いたとされていますが、この時期につける実も拳を握った形に似ています。
	アジサイ	アジサイ	見頃	花木園、ふれあい広場北側斜面、溪流広場	平安時代から歌にも詠まれ親しまれている花です。園内に約8000株のアジサイが植栽されています。
	アナベル	アジサイ	見頃	花木園展示棟前、梅園周辺	アジサイの仲間です。開花につれ薄緑色から白色に変わります。どこを剪定しても翌年花をつける性質があります。
	カシワバアジサイ	アジサイ	見頃	西立川口ぶらぶら坂下	北米産のアジサイです。白色の花を円錐状につけ、横向きか下に垂れ下がって咲きます。
	タイサンボク	モクレン	見頃	原っぱ東側園路沿い、花木園、ふれあい広場	日本では公園樹としてよく植栽される常緑高木です。近縁種のヒメタイサンボクは落葉小高木です。
	ネムノキ	マメ	見頃	溪流広場レストラン前、こもれびの里	日本では、この枝で頭をなでると早起きになる、体をさすって眠りを覚ませば農作業に精が出るなどの言い伝えがあります。
	ノリウツギ	アジサイ	見頃	第3サークル周辺園路沿い	開花始めはガクアジサイのような形状からゆっくり伸びて房状となります。枝をもむとノリのようにべたつく特徴もあります。
	ハナイカダ(実)	ハナイカダ	見頃	花木園展示棟ロックガーデン	葉の表面の中央に淡緑色の花をつけるさまをいかだに例えて花の名前が付けました。この時期には黒い実をつけます。
	ハーブ	セイヨウニンジンボク	シソ	開花始め	ハーブ園
ワイルドタイム		シソ	見頃始め	ハーブ園	初夏から秋にかけて桃色～紫色の小さい花を咲かせます。ハーブとして体へ様々な効果があることから「タイムの母」とも呼ばれています。
エキナセア		キク	見頃	ハーブ園、花木園売店前	根の部分に含まれている有効成分には、免疫機能を高める働きや抗炎症作用があります。
サルビア		シソ	見頃	ハーブ園	現在咲いているのはインディゴスパイヤーという青色の品種です。一般的にはサルビアセージという名で流通しています。
ブッドレア		ゴマノハグサ	見頃	花木園売店前	開花時期には多くの蝶を甘い香りで誘うことから「バタフライブッシュ」の英名があります。日当たりと水はけがよければ非常に生育が早い植物です。
ベルガモット		シソ	見頃	ハーブ園、花木園売店前	花は唇形で、茎の先端に輪状に花を咲かせます。
こもれびの丘	ヤマユリ	ユリ	開花始め	こもれびの丘南斜面	花びらの半分が反り返っており、横向きに花を咲かせます。食材のゆり根として市場に出ることもあります。
	チダケサシ	ユキノシタ	見頃	こもれびの丘南斜面	チダケサシと呼ばれる食用キノコを細長く強い茎に刺して持ち帰ったことからこの名前が付けました。オカトラノオのように白い小さな花を花穂状に咲かせます。

その他、オオバギボウシ、キキョウ、ツルニガクサ、ノアザミ、ヤブカンゾウなど初夏の山野草が咲いています。

2021年7月1日  
(週刊)



① アナベル

- ・花木園展示棟前
- ・梅園周辺



② アジサイ

- ・ふれあい広場北側斜面
- ・花木園菖蒲田周辺
- ・溪流広場
- ほか園内各所



③ ハス

- ・こもれびの里
- ・さざなみ広場



④ ユリ類

- ・西立川口ぶらぶら坂
- ・日本庭園
- ・こもれびの丘
- など



⑤ ダリア

- ・ダリアの庭
- ・原っぱ南花畑周辺

